

NEWS RELEASE

すてきナイスグループ株式会社

2016年8月5日

内閣官房国土強靱化推進室「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」に基づく 第1回「レジリエンス認証」を取得しました ～ 災害に強く、環境や健康に寄与する住宅への取組を評価 ～

◆ ニュースポイント ◆

すてきナイスグループ株式会社（社長：日暮 清、本社：神奈川県横浜市）は、内閣官房国土強靱化推進室が今年4月に創設した「国土強靱化貢献団体認証制度（レジリエンス認証制度）」において第1回目の認証を取得しました。

同認証制度は、社会全体の強靱化を進めることを目的として、大規模な自然災害などに備えて事業継続に積極的に取り組む各種団体を認証し登録するものです。

すてきナイスグループ(株)は、事業継続計画として「地震発生時における事業継続計画基本規定」を策定しており、この中で、企業グループとしての非常時における事業継続計画を定めております。また、「お客様の最適な住まいづくりを心を込めて応援する」という企業理念の下、災害直後の支援活動や住宅における復旧・復興支援の方針をはじめ、平常時においては災害に強く、環境や健康に寄与するレジリエンス型住宅の普及啓発に取り組む方針を掲げています。

今回、これらの事業継続計画における平常時及び非常時の両面での取組の方針が認められ、認証の取得に至りました。

第1回目の認証取得団体は自治体をはじめ建設業や製造業など44団体で、住宅関連資材の卸売業における認証取得はすてきナイスグループ(株)が初めてとなります。

ナイスグループは、住宅産業グループとして国土強靱化の促進の一翼を担うべく、レジリエンス型住宅の普及啓発とともに災害時における事業継続体制並びに支援体制の更なる強化に努めていきます。

レジリエンス認証とは

政府の内閣官房国土強靱化推進室では、国土強靱化の趣旨に賛同し、事業継続に関する取組を積極的に行っている事業者を「国土強靱化貢献団体」として認証する制度を創設するため、2016年2月に「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」を制定しました。

「レジリエンス認証」は、内閣官房国土強靱化推進室から上記ガイドラインに規定する「認証組織の要件」に適合する旨の確認を受けた(一社)レジリエンスジャパン推進協議会が、上記ガイドラインに基づく「国土強靱化貢献団体認証」として行うものです。

詳しくは(一社)レジリエンスジャパン推進協議会ホームページにてご確認ください。



この件に関するお問い合わせ先

すてきナイスグループ株式会社 グループ総合企画部 宮川 TEL：(045) 521-6111
〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8F

大規模災害時における被災地支援に向けた取組

<東日本大震災における取組>

被災された方々が避難所での生活を一日でも早く終わられるよう、あらかじめ加工された木材を用いて仕口などの接合部に金物を使用した木造軸組工法を採用し、短工期で耐震性や精度の高い応急仮設住宅の建設に取り組み、宮城県や福島県で合計 1,088 戸の建設に携わりました。

震災から 2 カ月後の 2011 年 5 月には、被災された方々の早期の住宅再建に向け、高性能・高品質かつお求め安い価格を実現した復興応援型住宅「フェニーチェホーム」を開発いたしました。以降、フェニーチェホームの供給に当たっては、東北地方の住宅関連事業者様と合弁会社を設立し、地域に密着して活動を進めております。

一般住宅以外の建築にも積極的に取り組んでいます。宮城県や福島県において災害公営住宅を手掛けているほか、2014 年 7 月には宮城県南三陸町の特別養護老人ホーム「慈恵園」の建設に携わり、日本最大規模となる準耐火構造の木造建築物を供給いたしました。



応急仮設住宅（福島県田村市）



復興応援型住宅「フェニーチェホーム」



特別養護老人ホーム「慈恵園」

<平成 28 年熊本地震における取組>

平成 28 年熊本地震においては、発生直後より緊急災害対策本部を発足し、被災地支援に迅速に取り組みました。支援に当たっては、「ジャパン・レジリエンス・アワード^(※)」の 2016 年度最優秀レジリエンス賞を受賞した韓国の「ナイスグループ釜山新港総合物流センター」を活用し、約 1 万 7,000 リットルの飲料水を調達いたしました。

※ジャパン・レジリエンス・アワード

全国で展開されている次世代に向けたレジリエンス(強靱な)社会構築への取組を(一社)レジリエンスジャパン推進協議会が発掘、評価、表彰する制度

また、九州の物流網が不確定な状況にある中、独自の物流機能を駆使し、食料や衣料品といった日用品や、ブルーシートや補修テープといった資材などの支援物資を、熊本県内の被災者受け入れ病院や熊本市役所、避難所となった学校施設などに迅速に提供いたしました。



「釜山新港総合物流センター」から到着した支援物資



被災者受け入れ病院からの感謝の声をいただいた

災害に強く、環境や健康に寄与する住宅の普及啓発に向けた取組

ナイスグループは、1971年よりマンションを、1972年より木造一戸建住宅を供給しております。

マンションについては、1995年から免震マンションに取り組み、2005年からは8階建て以上については免震構造とし、7階建て以下は住宅性能表示制度における耐震等級2（学校や病院などの公共性の高い建物に求められる耐震性能）を確保しています。2014年からは供給するマンションの全棟で免震構造を標準採用しています。



ナイスグループ初の免震マンション
(1997年竣工、東京都世田谷区)

木造一戸建住宅については、1995年より仕口接合部に高強度の専用金物を用い、歪みやくるいの少ない構造用集成材によるナイスグループオリジナルの木造軸組工法「パワービルド工法」を採用しています。また、同工法により全戸で耐震等級3（警察署や消防署といった災害時の拠点となる建物に求められる耐震性能）を確保してまいりました。2009年からは長期優良住宅を全戸に採用しています。



ナイスグループオリジナル
「パワービルド工法」

2011年には建築環境総合性能評価システム「CASBEE」の最高ランクを分譲地全棟で取得した日本初の「CASBEE Sランクタウン」（全8区画）を手掛けたほか、2012年には東日本初となるLCCM住宅を、2013年には神奈川県初となる認定低炭素住宅を一般居住用として供給するなど、耐震性や省エネ性などをはじめとして高性能かつ高品質な住宅の供給に積極的に取り組んでおります。



「CASBEE Sランクタウン」
(2011年・神奈川県横浜市)

更に、太陽光発電システムにより年間の消費エネルギー量をゼロとし、蓄電池などを付加することで災害時における電力の確保が可能なゼロ・エネルギー住宅の普及に努めており、2014年には分譲地全棟をゼロ・エネルギー住宅とした「ゼロ・エネルギータウン」（全19棟）を開発いたしました。



「ゼロ・エネルギータウン」
(2014年・神奈川県横浜市)

一般消費者へのレジリエンス型の住宅の啓発に向けては、2001年から「住まいの構造改革キャンペーン」と題した住宅の耐震化の推進に向けた取組を開始しています。2002年には「住まいの耐震博覧会」をスタートし、以来、耐震化の重要性を訴求し続けています。現在では毎年、東京をはじめ全国5カ所で開催しており、これまでの累計来場者数は170万人を超えました。



「住まいの耐震博覧会」（東京開催）